

国際シンポジウム

子どもの声からはじまる未来

～ Have a voice, To our future ～

令和元年 **12月20日(金)** (開場15:30)

赤い羽根
共同基金
助成事業

会場

鳥取大学
共通教育棟2階A20講義室
〒680-8551
鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101

参加費：一般 1,000円
(当日1,200円)
学生・社会的養護経験者は、無料
鳥取養育研究所・鳥取大学地域学部・
鳥取県児童養護施設協議会の関係者は、500円

日本では今年改正された児童福祉法で「今後2年を目途に、子どもの意見表明権を保障する仕組みを検討し必要な対応をする」と決め動き出しました。その一環で、子どもの声を表に出すことを実現するために、国際シンポジウムを鳥取で開催します。

子どもの声を表に出す仕組みをつくり実践を重ねてきた世界的に先進性のあるカナダ・オンタリオ州子どもアドボカシー事務所元所長アーウィン・エルマン氏とカナダ、日本両国の子どもの声の架け橋である菊池幸工氏を招き、「子どもの声からはじまる未来」を学び合います。そして社会的養護経験者の若者が自らを語る機会を通じ、子どもの声を表に出すために鳥取は何から始められるか、みなで考えます。



アーウィン・エルマン氏

オンタリオ州子どもアドボカシー事務所元所長。州政府からの独立機関として子どもの声を社会に届ける活動に尽力。カナダ・チルドレンズエイド基金「スタンドアップフォーキッズ賞」受賞



菊池幸工氏

日本の児童福祉関係者の研修・研究コーディネーターおよび通訳。カナダと日本の社会的養護の子どもの国際交流コーディネーター。著書「子どもの権利最前線 カナダ・オンタリオ州の挑戦」等

【共催】：鳥取養育研究所／鳥取大学地域学部／鳥取県児童養護施設協議会／日本キリスト教児童福祉連盟

【後援】：鳥取県、鳥取県教育委員会、鳥取市、倉吉市、米子市、鳥取県弁護士会、鳥取県社会福祉協議会、鳥取県児童福祉入所施設協議会、鳥取県母子生活支援施設協議会、鳥取県里親会、鳥取県子ども家庭育み協会、鳥取県福祉研究学会、NPO子どもの虐待防止ネットワーク鳥取、新日本海新聞社、NPO法人Living in Peace
※順不同

日程

15:30 受付

16:00 開会

16:15 第一部：特別記念講演

「子どもの声からはじまった
カナダ・オンタリオ州の変革（仮）」

講師：アーウィン・エルマン氏
(カナダ・オンタリオ州子どもアドボカシー事務所元所長)
通訳：菊池幸工氏
(カナダと日本のインケアユース国際交流コーディネーター)

18:15 休憩

19:00 第二部：子どもの声からはじまる未来

子どもの声からはじまる未来
～ Have a voice, To our future ～

スピーカー：社会的養護経験者4名
(高校生トロント交流会参加者)

21:00 閉会

会場アクセス

鳥取大学
共通教育棟2階
A20講義室

〒680-8551
鳥取市湖山町南4-101



※お車でお越しの際は、第1駐車場（正門より鳥取市街方面）又は第2駐車場（正門より米子方面）をご利用ください。

※駐車料金は無料です。再入場しますと次のような料金が発生しますのでご注意ください。入場後1時間までは無料、1時間以上2時間未満は100円、以後1時間を経過するごとに100円を加算。24時間ごとの最高限度額は500円。

※会場付近に飲食店等はありません。休憩中の飲食は各自用意して持ってきてください。

■ 事前申込みの場合

- ・ 鳥取養育研究所HP (<http://youken.info/>) 内の”国際シンポジウム「子どもの声からはじまる未来～ Have a voice, To our future ～」申込フォーム”よりお申込みください。右のQRコードより読み取り可能です。
- ・ メールでの申込みの場合は、本文に下記申込用紙の必要事項を記入のうえ、件名を”国際シンポジウム申込み”とし、ご送信ください。
- ・ 下記申込用紙に必要事項を記入のうえ、FAX、もしくは郵送でお申込みください。



※参加費については当日お支払いください。

■ お問い合わせ

- ・ メール、FAXにてお問い合わせください。

鳥取養育研究所

〒680-0061 鳥取県鳥取市立川町5丁目417 鳥取子ども学園内

TEL:050-3532-8127 FAX:0857-23-0242 MAIL:youken@youken.info

国際シンポジウム「子どもの声からはじまる未来～ Have a voice, To our future ～」参加チケット事前申込用紙

フリガナ		必要枚数	
氏名			枚
所属			
TEL		MAIL	

※お申込みいただいた内容は本事業の目的のみに使用させていただきます。